『土岐の写真を撮り隊』はじまります

広報とき―。市の情報や出来事をお伝えするのはもちろんですが、私たち広報担当者が一番大切に思うことは、広報ときを通して読者の皆さんと土岐市の今を共有することだと考えています。

伝えるだけじゃない広報紙の形を模索し、今月から土岐商業高等学校写真部の皆さんによる写真コラムが始まります。

思いがけない出会いが新しい景色を拓くように、彼、彼女らが切り取った土岐市の今を皆さんと共有できたらと思います。

問　秘書広報課（内線613）

わたしたちが土岐市を発信します

『土岐の写真を撮り隊』

普段はこんな写真を撮っています

水越 彩乃さん（２年）

風景を撮るのが好きです。日常のふとした瞬間を切り取ったり、旅先で見た景色を写真に収めたりしています。写真に収めると、その一枚が記憶として鮮明に残ります。

阿部　来飛さん（１年）

人が好きなので、人物を撮るのが好きです。人が引き立つような写真を撮りたいと思います。

鈴木 琛南さん（３年）

風景をよく撮ります。家族で出かける時にはカメラを持っていろんな景色を刻んでいます。写真部になってからは身の回りの小さな出来事にも目に留まるようになりました。この写真もその一枚です。

写真部部長 3年
冨田　琥珀さん

私たち土岐商業高校写真部は、放課後に学校の中でしか見られない景色を撮ったり、部員それぞれがカメラを持ち帰り、自分が見た景色を撮ったりして、コンテストに応募しています。よく知っている場所でも写真にしてみると全然違う景色のように見えますし、新たな発見もたくさんあります。それだけ写真というものがすごいということだと思います。

今回は土岐市の広報とコラボするということで、土岐市を舞台に撮影していきます。私たち写真部の部員の多くは市外から通っています。土岐市在住の部員や友人に話を聞いたり、情報を調べたりしながら土岐市を知り、私たちの目に映った土岐市を撮影します。「こんな景色があるんだ」「こんな風に見えるんだ」と、広報を通じて多くの人に知ってもらいたいと思っています。配置など細かなところにもこだわって、みんなで話し合って決めた写真を載せていく予定です。毎月、楽しみにしてください。

さあ、はじまります

「土岐の写真を撮り隊」は11ページへ